

令和3年度



夢をもち ともにやりぬく 学校だより № 2

南っ子

磐田市立磐田南小学校

新たな出発からふた月

昨年度のことを思い出しますと、この時期は、臨時休業から学校再開をするために、地区を二つに分けて登校するというをやっていました。1年間の経験や情報から得た知識等を活かし、本年度も気を引き締めて新型コロナウイルス感染予防に努めていきますので御家庭でも御配慮をお願いします。

さて、1学期が始まってふた月ほど経ちました。新しい学級にも慣れて、徐々に子供たちの人間関係の緊張が解けてきているように感じます。学級編成は子供たちが社会性を身に付けていくための手立ての一つです。例えば入社や異動といったときの、新たな集団に飛び込み新たな人間関係を作っていかななくてはならない場面の練習といえます。子供たちはふた月ほどでこの練習を乗り越えたようです。



タブレット端末に思う

本年度から、GIGA スクール構想により一人一台端末が配備されました。子供たちは、授業でタブレットを使うというだけでもテンションが上がるようです。一人が一台の端末を持つことで、扱いに慣れて早く使いこなせるようになると思います。

ただ、この一人一台端末の導入は、タブレットを使うことの習熟を目指すものではありません。タブレットはあくまで学習を支える道具で、算数で使うコンパスのようなものだと思います。コンパスの扱いに慣れて、円を素早くきれいに描けるようになっても、図形についての資質・能力が高まるわけではないことは言うまでもありません。

南小としては、素早く情報を収集・共有できる特性を生かして学習をはかどらせ、思考を深める活動を多く取り入れたり概念理解につなげたりしていきたいと考えています。いずれにせよ、授業で効果的な活用ができるよう研究をしています。



(校長 上野 明彦)